

1 令和2年度 指導の目標と重点

資料1

(1) 指導の目標

学校には、子どもの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」を育むことが求められています。

本市では、平成23年度からの「横須賀市教育振興基本計画」において、【人間性豊かな子ども】を横須賀の子ども像として掲げ、学校・家庭・地域で連携して子どもを育むことを目指しています。「指導の目標」は、「横須賀市教育振興基本計画第3期実施計画（平成30年度から4カ年計画）学校教育編」の5つの目標を基に、児童生徒を指導する上で学校が取り組むべき目標とその内容を示しています。各学校では、この「指導の目標」を基に教育課程を編成し、その実践を通して、【人間性豊かな子ども】を育ててください。

1 子どもの学びを豊かにします

「子どもの学びを豊かにする」とは、子どもが学びの過程において、学び方を身に付け、自分の良さや成長を自覚し、学ぶことの大切さを実感できる学び、また、仲間と共に学ぶことの意義を見出し、自分と向き合う中で新たな目標を持つことができる学びを実現することと捉えます。

子どもの学びを豊かにすることで、自己肯定感を高め、予測困難な時代を生き抜く力、夢や目標に向かって未来を切り拓いていく力を育成することを目指します。

(1) 学校の教育目標の実現に向けて、創意工夫ある教育課程を編成します

社会に開かれた教育課程の理念のもと、学校や地域の実態を把握し、子どもの発達の段階や特性を考慮して、「生きる力」を育む創意工夫ある教育課程を編成します。また、学校評価等を活用し、教育課程の改善につながるマネジメント・サイクルを確立します。

(2) 確かな学力を育成するため、質の高い授業を行います

学習指導要領の内容について理解を深め、目標と指導と評価が一体となった授業を行い、子どもに学校教育で身に付けるべき資質・能力の育成を図ります。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善の充実を図ります。その際、教科等の「見方・考え方」を働かせた学習の過程を重視します。

(3) 学校教育の土台となる認め合い高め合う関係を築く力を育成します

学力・体力と自己肯定感は相関関係にあります。子ども自身の良さや成長を自覚できるような指導を行うことで、自己肯定感を高め、学習や運動への意欲を喚起するようにします。また、適切に自己表現する力や相手の立場に立って考える力を育てるとともに、規範意識をはじめ自律性や自主性、集団の一員として協力する態度を育てることで、子ども同士が互いに認め合い高め合う関係を築くことができるようにします。

(4) インクルーシブ教育システムの構築を推進します

共生社会の実現に向けて、一人一人の子どもの理解に努め、共に学び、共に育つことができるよう、子ども同士の相互理解を深める取組を日常的・継続的に進めます。日常の授業では、子どもの発達の段階や特性、子どもの学習スタイルの多様性や教育的ニーズを踏まえ、「学びのユニバーサルデザインの考え方」を考慮した「教え方」だけでなく、一人一人の「学び方」も大切に誰かがわかりやすい授業を行います。また、「基礎的環境整備」を踏まえた「合理的配慮」として、子どもの教育的ニーズに応じた指導や支援の提供を図ります。

(5) 校種間連携を推進します

中学校ブロックで目指すべき教育方針を設定し、義務教育9年間を見通して、子どもに必要な資質・能力を育むため、学びの系統性・連続性を重視した小中一貫教育を推進します。また、幼保小連携や高校への接続を踏まえた教育活動を行います。市立高校においては、義務教育の学びを活かしつつ、教育活動の充実を図ります。

2 子どもの健やかな体を育成します

「子どもの健やかな体を育成する」とは、生涯にわたってたくましく生きるために必要な健康を保持増進することや、体力を育成することと捉えます。

体力は人間の活動の源であり、健康の維持といった身体面のほか、意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わっています。子どもの発達の段階に応じて、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、学校における食育を充実させることを目指します。

(1) 健康・体力向上の取組を推進します

体力や運動能力、運動習慣等に関する実態を把握し、その結果を活用して、一人一人の健康の保持増進と体力の向上を図ります。

(2) 学校の教育活動全体を通じて行われる「体育・健康に関する指導」を推進します

健やかな体の育成に向け、体育・保健体育科の授業改善や体育的行事の充実など、学校の教育活動全体を通じて組織的かつ計画的に行われるよう推進します。

また、多様化・深刻化する健康課題に対応するため、子どもが適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することができるよう、体育・保健体育科、家庭科及び特別活動の時間はもとより、各教科等においても、それぞれの特質に応じて体系的な指導の充実を図ります。

(3) 学校における食育の充実を図ります

食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、小学校に配置されている栄養教諭を中核とした学校、家庭、地域の連携・協働による食育の充実を図ります。

また、中学校完全給食の実施に向けて、小・中学校9年間を見通した食に関する指導の充実を図ります。

(4) 望ましい生活習慣の確立に向けた支援を充実させます

望ましい生活習慣の確立を図るため、家庭と連携した継続的な指導と支援を行い、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上につながる活動を推進します。また、望ましい運動習慣の確立を図るため、健康・体力づくりへの意識を高めます。

(5) 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります

生涯にわたって、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力や豊かな人間性、社会性を醸成するため、学校における体育活動を通じて、運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

3 学校の組織力や教職員の力を高めます

学校の教育目標の実現に向けて、学校は、人材育成に努め、チームとして組織力を発揮し、教育活動の充実を図るようにします。校長は、マネジメントを行い、リーダーシップを発揮し、教職員は組織の一員として、それぞれの役割を遂行することが重要です。特に、教員は、授業における指導力の向上を図るため、研究や研修に努め、協働し互いに学び合う姿勢を大切にします。さらに、教員一人一人が、カリキュラム・マネジメントに関わることが求められます。

また、学校全体で、やりがいもち子どもと豊かに関わることができるよう、業務改善を行うとともに、多様化する教育課題に適切に対応するため、学校の教育力が十分に生かされるような校内体制を目指します。

(1) 組織を有効に機能させ、人材を育成します

教職員は、組織の一員として自分の役割を果たすことに努め、グループ制や学年会、教科会等を有効に機能させ、校内の人材育成を推進する体制を整えます。

(2) 校内研究・研修の充実を図ります

協働して校内研究を深め、同僚性を高めながら研究成果を日常の教育活動の改善につなげます。また、教職員一人一人が経験年数や職務に応じた自己課題を把握し、研修機会を活用して資質・能力の向上に努めます。

(3) 学校事故や様々な学校の課題へ組織的かつ適切に対応します

学校管理下における怪我や個人情報に関わるような学校事故、いじめ等の様々な学校の課題に対し、危機管理マニュアル等に基づいて校内体制を整え、その未然防止に努めるとともに、事案が起きた時には、速やかにかつ適切に対応します。

(4) 子どもと向き合う環境づくりを推進します

限られた時間の中で、子どもと向き合う時間を十分に確保し、持続可能な学校教育を実現するため、業務の明確化や適切な役割分担、学校の組織運営の体制の在り方、勤務時間に関する意識改革、地域・保護者への理解促進等を推進します。

4 学校・家庭・地域の連携を深めます

子どもが、基本的な生活習慣、運動習慣、学習や読書の習慣を身に付けるため、また、子どもが地域への理解を深め、地域を愛する気持ちをもつためには、家庭や地域との連携が必要です。

学校は、「社会に開かれた教育課程」を実現するため、家庭や地域と目標やビジョンを共有し、連携を深めるとともに、学校教育への理解を促します。

(1) 家庭・地域との信頼関係や協力体制を構築します

教育活動に対する家庭や地域の意見を的確に把握するとともに、学校の教育活動に関する情報を家庭や地域と共有することを通して、学校と家庭、地域との信頼関係を深め、関係者が一体となり子どもを育成します。

(2) 地域の教育資源や学習環境を一層活用します

子どもが実感を伴って学び、生活に生かす力を身に付けることができるよう、地域の人材や素材、専門的機能をもつ諸機関を効果的に活用し、教育活動の充実を図ります。

5 教育環境を整備し、充実させます

学校の教育環境は、子どもの「生きる力」の育成に、大きく影響する要素です。

子どもが、心豊かに、安全で安心な学校生活を送ることができるよう、教育環境を整備し、充実させることを目指します。

(1) 安全・安心な環境づくりに努めます

危機管理意識を高め、家庭や地域、関係諸機関の協力を得ながら、防犯を含む安全・安心に配慮した教育環境を整備します。学校環境を踏まえた防災計画や防災訓練、防災管理・組織的活動の充実を図ります。

(2) 効果的な学習環境づくりに努めます

教育の質的向上を図るため、教室や学校図書館等の特別教室の環境を整えるとともに、ICTを含む教材・教具の工夫とその効果的な活用を推進します。

(2) 指導の重点

「指導の目標」を踏まえ、学校と教育委員会が重点的に取り組むべきことを「指導の重点」として次のように設定しました。

重点1 学力を向上させます

【現状】

本市の子どもの学力の面では、全国学力・学習状況調査や横須賀市学習状況調査の結果から、同一集団における経年変化は学年が進むにしたがって全国平均に近づく傾向にあり、学習状況について改善しています。一方で、本市の特徴として、小学校低学年において全国平均との差が大きいことが明らかになっています。また、平均正答率の度数分布を分析すると、小・中学校に共通して、学力の定着に課題のある子どもの割合が多く、学力の二極化が起っていますが、昨年度の調査結果では、多くの学校においてその状況が改善されていません。

【課題】

上記現状の改善のためには、各学校が子どもの実態を踏まえた上で、自校の課題を分析し、取り組むべきことを明らかにした教育課程の編成が必要です。また、目標と指導と評価が一体となった授業づくりを一層充実させていく必要があります。

重点2 認め合い高め合う関係を築く力を育てます

【現状】

横須賀市学習状況調査等の結果から、規範意識の高さや、積極的に自分の気持ちを伝えようとしている子どもが多いことがわかります。一方で、自己肯定感に関しては、肯定的な回答の割合が市内の学校のおよそ半数で全国平均を下回っています。相手を思いやれずトラブルになってしまうことを課題と捉えている学校も多くあります。また、不登校の出現率が全国や県と比較して依然として高い状況です。いじめについては、いじめ防止対策推進法に基づいた積極的な認知が進んでいますが、いじめはどんな理由でもしてはいけないと回答する子どもの割合が増加していません。

【課題】

子どもが自分のことを大切に思えるようにするために、子ども一人一人への支援の充実を図る必要があります。また、相手の気持ちへの理解を深めることや、互いの思いを通い合わせることの大切さを実感できる取組のさらなる推進が必要です。

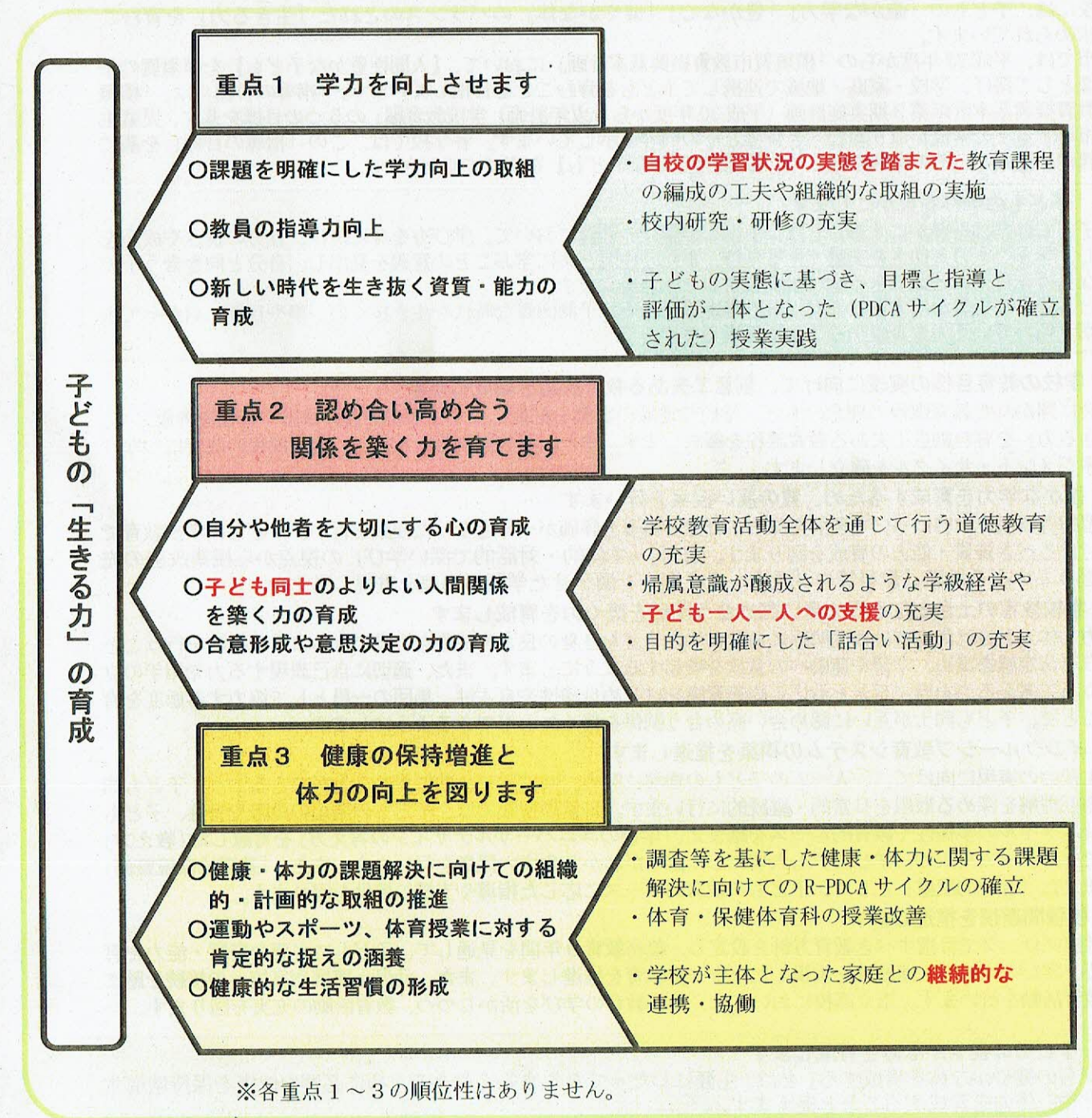
重点3 健康の保持増進と体力の向上を図ります

【現状】

本市の体力等調査の結果から、全国的な課題として指摘されている「積極的に運動する子どもとそうでない子どもの二極化」の傾向が、本市においても顕著です。また、体力との関連が指摘されている「運動やスポーツ、体育の授業に対する肯定的な捉え（好き・大切・楽しい）」について、学年が上がるにつれてその割合が低下する傾向も見られます。さらに、朝食の摂取状況や1日の睡眠時間など、基本的な生活習慣の形成についても引き続き課題があると言えます。

【課題】

子どもの生活リズムの向上を図るため、学校における継続的な指導をもとに、学校と家庭が連携を図り、朝食の摂取状況や1日の睡眠時間など、健康・体力づくりへの意識を高め、望ましい生活習慣・運動習慣を確立することが必要と捉えています。



3つの重点の達成に向けて、共通して大切にしたいのが、**より質の高い授業づくり**であると考えています。各学校では、指導の重点に対して、学校教育活動全体を通じて、**学校重点プランを基に**、組織的・計画的に取り組んでください。

学力・体力・生活意識調査の専門的分析から、お互いを認め合える学級集団であることや自分自身のよさを認める自己肯定感が、子どもの学力および体力の向上に影響していることがわかりました。他者への理解を深め、認め合い高め合う関係を築く力を育てることによって学力・体力の向上はもとより、人間性豊かな子どもの育成につながると捉えています。

横須賀の子ども像

「人間性豊かな子ども」

- ・自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている
- ・生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っている
- ・心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている
- ・自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している
- ・社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献している
- ・郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けている

指導の目標

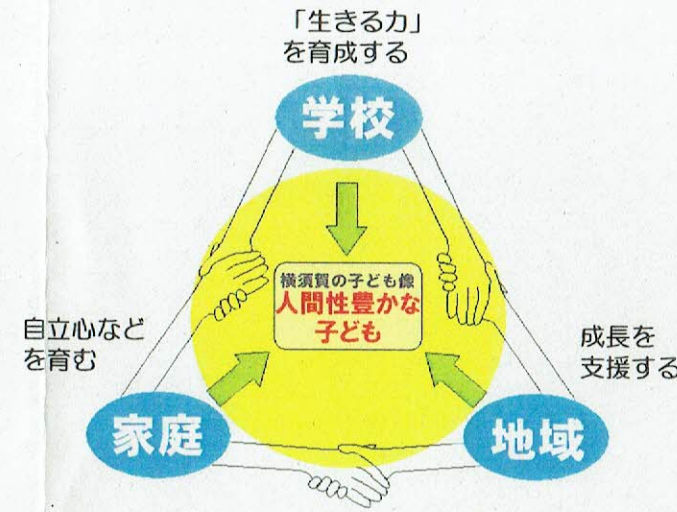
子どもの学びを豊かにします

子どもの健やかな体を育成します

学校の組織力や教職員の力を高めます

学校・家庭・地域の連携を深めます

教育環境を整備し、充実させます



目指す子どもの教育の姿

学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている

指導の重点

子どもの生きる力の育成

重点1 学力を向上させます

自校の学習状況の実態を踏まえた教育課程の編成の工夫や組織的な取組の実施

重点2 認め合い高め合う関係を築く力を育てます

帰属意識が醸成されるような学級経営や子ども一人一人への支援の充実

重点3 健康の保持増進と体力の向上を図ります

学校が主体となった家庭との継続的な連携・協働